



菊武学園フラッシュニュース

ウエイト部の山本、山口両選手 2024パリ五輪の強化指定選手に



名古屋産業大学のウエイトリフティング部の山本真鼓選手（大学院2年）=写真上と山口優人選手（2年）が9月10日、日本ウエイトリフティング協会から2024パリ五輪の強化指定選手に認定されました。名産大では初めてです。



山本選手は昨年11月に開かれた日本女子選抜選手権64キロ級の3部門で日本新をマークする完全優勝しました。

山口選手は昨年5月、スナッチでジュニア日本新記録を樹立したのが評価されました。今後、両選手は国内外の合宿や対抗試合に派遣されることになります。

11月23日復帰戦に初挑戦 名産大プロボクサー高山選手



名産大ボクシング部で元世界チャンピオンの高山勝成選手（4年）が、2020年11月23日に兵庫県三田市で、プロ復帰戦に臨むことが決まりました。

階級をこれまでのミニマム級から一つ上げ、ライトフライ級6回戦で戦い、2階級制覇を目指しての再出発となります。対戦相手は、IBF世界ライトフライ級8位の選手で、2度の世界挑戦の経歴を持つ強豪です。

東海・北陸大会で準優勝 菊華高ダンス部 全国大会出場



菊華高校ダンス部は8月2日、名古屋市で開かれた第13回日本高校ダンス部選手権東海北陸大会で、準優勝の栄冠に輝きました。

3年生8名と2年生4名の選手は、すべての人への感謝の気持ちを表した「樹齢17年の息吹」をテーマに創作ダンスで挑戦しました。

コロナ禍の中で全員が集まらず、オンラインシステムを利用して大会に備えた工夫も実りました。8月18日、横浜での全国大会に出場しました。

遠隔授業、対面授業の併用で対応 部活動も公式試合再開 コロナに負けない

“With コロナ”の状況が続く中、菊武学園の各大学、学校、園では、「新型コロナに負けない」を合言葉に、3密を避け換気の徹底などいろいろな工夫を凝らして授業がスタートしています。

名古屋産業大学、名古屋経営短期大学では9月21日の夏休み明けの秋学期のオリエンテーションに、学生らがゼミの教員らの指導で、パソコン教室などでマスクをしながら履修登録を済ませました。

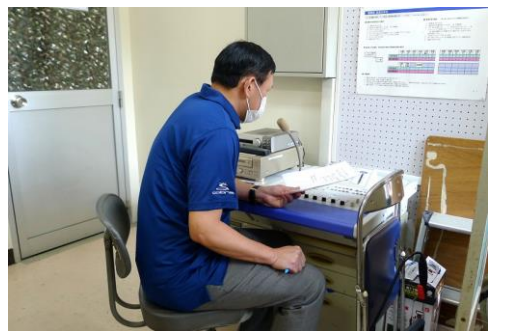
実習授業など特別な科目を除き、秋学期がスタートしてしばらくはやはり遠隔授業が続きますが、サッカー部、野球部、ウエイトリフティング部などの強化部活動を中心に、9月から各競技団体の方針にのっとり公式試合に参戦しています。

菊華高等学校では8月21日、例年より早い始業式を開催しました。3密を避けるため山岸校長ら教員が放送室から、各教室の生徒に始業の挨拶やコロナ対策の注意を放送で流す異例の始業式でした。

菊武ビジネス専門学校や名古屋ウエディング&フラワー・ビューティ学院でも、夏休みの短縮や午前中の短縮授業などの対策でコロナ禍を乗り切っています。

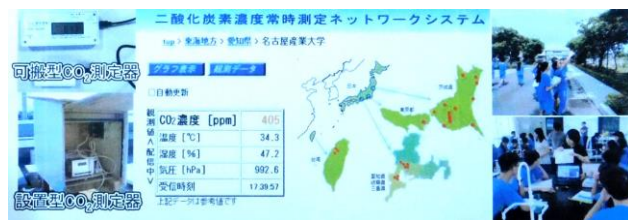


マスク姿で秋学期の履修登録をする学生=名産大



校内放送での始業式。生徒は教室で臨む=菊華高校

キッズデザイン賞を受賞 名産大の環境教育支援研究



名産大の環境教育研究プロジェクト（代表：伊藤雅一教授）とユードム（水戸市）が進めている「CO2センシングを基盤とした環境学習支援」が8月21日、2020年キッズデザイン賞を受賞しました。

子どもたちの安全な暮らし、創造性の育成などを目的とした製品、サービス、研究を顕彰する制度で、名産大とユードムの共同研究は、環境学習のためのCO2濃度測定器の開発やそれを利用した環境学習支援の仕組みです。17年前から取り組み、昨年末に完成しました。

名産大では現在、WEBページでマニュアルを公開していて、簡単な手続きで自由に利用できます。

部活動・レコード・記録

- ◆名産大ボウリング部 愛知県知事杯学生部門 優勝 Aチーム（山田、平岩、松尾）4位 Bチーム（村瀬、高野、山下）
- ◆菊華高校サッカー部 名古屋地区大会 優勝
- ◆菊華高校女子ソフトテニス部 新人名北地区大会団体 優勝

名産大にコロナ心の相談室 臨床心理士の宮坂まみ講師

名古屋産業大学の宮坂まみ講師（心理学専攻）は、8月から大学研究室に「新型コロナに関する心の電話相談」を開設しました。学生だけでなく一般の方の相談も応じます。

相談時間はフリーダイヤル <0800-808-0946>が月曜午前5時30分—6時30分、水曜午前5時30分—6時。通話料が相談者の自己負担となる<070-8423-

1946>は、月曜と水曜午後1時—2時、火曜午前11時—午後1時、木曜午後3時—4時となっています。相談は無料。

学生の感染防止に役立てて ツルタ工業が名産大に寄付

名古屋産業大学は7月17日、鉄筋工事業「ツルタ工業」（鶴田裕久社長 津市森町）から、学生のコロナ防止対策の支援金として100万円の寄付を受けました。

また、名古屋産業大学とツルタ工業がさまざまな分野で協力する包括協定に調印しました。



ポスター（上）と宮坂講師

